

2026年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年4月30日

上場会社名 コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2579 URL <https://www.ccbj-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) カリン・ドラガン
 問合せ先責任者 (役職名) 財務本部長 (氏名) 昆 聡 TEL 0800-919-0509
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	196,521	3.6	△2,678	—	△240	—	△901	—	△922	—	△413	—
2025年12月期第1四半期	189,760	1.7	△6,498	—	△10,069	—	△6,448	—	△6,454	—	△6,723	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△5.60	—
2025年12月期第1四半期	△36.67	—

※事業利益は、事業の経常的な業績を計るための指標であり、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものであります。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	681,531	368,913	368,621	54.1
2025年12月期	698,486	380,199	379,892	54.4

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	28.00	—	32.00	60.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	35.00	—	37.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	902,700	1.0	35,000	42.7	36,000	—	34,700	—	22,600	—	22,500	—	139.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期1Q	171,268,593株	2025年12月期	171,268,593株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	7,147,716株	2025年12月期	5,554,691株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期1Q	164,805,470株	2025年12月期1Q	175,986,345株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託および株式付与ESOP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想とは大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書	6
(要約四半期連結損益計算書)	6
(要約四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当該内容の詳細については、本日4月30日(木)午後5時30分より開催の決算説明会の資料を当社ウェブサイト(<https://www.ccbj-holdings.com/ir/library/presentation.php>)に掲載しておりますので、そちらをご参照ください。決算説明会のライブおよびオンデマンド配信は当社ウェブサイトにて行っております。

なお、当第1四半期連結累計期間(2026年1月1日～3月31日、以下「当第1四半期」)の業績の概要は以下のとおりです。

業績の概要

第1四半期累計期間(1月1日～3月31日)

(単位:百万円、販売数量を除く)

	2025年	2026年	増減率 (%)
売上収益	189,760	196,521	3.6
販売数量(百万ケース)	104	108	4.0
売上総利益	83,095	87,400	5.2
販売費及び一般管理費	89,368	90,125	0.8
その他の収益(経常的に発生した収益)	150	300	100.0
その他の費用(経常的に発生した費用)	422	244	△42.2
持分法による投資利益(△は損失)	47	△9	—
事業損失(△)	△6,498	△2,678	—
その他の収益(非経常的に発生した収益)	465	4,811	935.7
その他の費用(非経常的に発生した費用)	4,035	2,374	△41.2
営業損失(△)	△10,069	△240	—
親会社の所有者に帰属する四半期損失(△)	△6,454	△922	—

※事業損失(△)は、事業の経常的な業績をはかるための指標であり、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものです。

当第1四半期の販売数量は、計画を上回って進捗し、価格改定によりケース当たり納価を改善させながら、前年同期比4.0%の成長を実現しました。ビジネスユニットごとに、コアカテゴリーの強化や売場の拡大、飲用機会を訴求したマーケティング活動に取り組んだことなどが、競争力向上と数量成長に貢献いたしました。

連結売上収益は、196,521百万円(前年同期と比べ6,760百万円、3.6%増加)となりました。販売数量が増加したことに加え、価格改定の効果としてケース当たり納価が改善し、売上収益は前年同期を上回る結果となりました。

連結事業利益は、前年同期と比べ3,820百万円増加(損失が減少)し、2,678百万円の損失(前年同期は6,498百万円の損失)となりました。売上収益増加による利益貢献に加え、変革を通じたコスト削減や、費用対効果を重視したマーケティング活動による販促費の減少などが、収益性改善に貢献いたしました。持続的な成長に向けた投資を計画どおりに実行しながらも、年間の増益目標額の3分の1以上を当第1四半期に達成いたしました。なお、中期経営計画「Vision 2030」の初年度として、資本効率向上を目的とした厳選した設備投資や長期的かつ有効な資本活用を行なっていく方針に基づき、製造用機械装置の耐用年数の見直しを行っており、これにともない、当該資産における減価償却費が減少しております。

連結営業利益は、前年同期と比べ9,828百万円増加(損失が減少)し、240百万円の損失(前年同期は10,069百万円の損失)となりました。これは、事業利益が前年同期と比べ増加(損失が減少)したことに加え、バランスシートの最適化を進める過程で計上した有形固定資産売却益4,808百万円によりその他の収益(非経常)が増加したことなどによるものです。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、営業利益が前年同期と比べ増加(損失が減少)したことなどから、前年同期と比べ5,532百万円増加(損失が減少)し、922百万円の損失(前年同期は6,454百万円の損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、前第2四半期より、報告セグメントの区分を変更しております。当第1四半期と前年同期のセグメントごとの経営成績の比較・分析は変更後の区分に基づいて記載しております。

①ベンディング事業

売上収益は88,674百万円（前年同期と比べ694百万円、0.8%の減少）となりました。セグメント利益は前年同期と比べ4,566百万円増加し、1,611百万円となりました（前年同期は2,955百万円の損失）。

②OTC事業

売上収益は90,224百万円（前年同期と比べ5,487百万円、6.5%の増加）となりました。セグメント利益は8,274百万円（前年同期と比べ1,686百万円、25.6%の増加）となりました。

③フードサービス事業

売上収益は10,756百万円（前年同期と比べ1,381百万円、14.7%の増加）となりました。セグメント利益は942百万円（前年同期と比べ122百万円、11.5%の減少）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

総資産は681,531百万円となり、前連結会計年度末（以下「前期末」）と比べ16,956百万円減少しました。これは主に、「現金及び現金同等物」、「営業債権及びその他の債権」が減少したことによるものです。

負債合計は312,618百万円となり、前期末と比べ5,670百万円減少しました。これは主に、「営業債務及びその他の債務」および「未払法人所得税」が減少したことによるものです。

資本合計は368,913百万円となり、前期末と比べ11,286百万円減少しました。これは主に、配当金の支払い等により「利益剰余金」が減少したことや自己株式を取得したことによるものです。

また、当第1四半期におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、8,757百万円の収入（前年同期は340百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期損失382百万円の計上や「有形固定資産売却益」があった一方で、「減価償却費及び償却費」や「営業債権及びその他の債権の減少額」があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、961百万円の支出（前年同期は9,476百万円の支出）となりました。これは主に、「有形固定資産、無形資産の売却による収入」があった一方で、「有形固定資産、無形資産の取得による支出」があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、13,411百万円の支出（前年同期は15,038百万円の支出）となりました。これは主に、「自己株式の取得による支出」および「配当金の支払額」によるものです。

以上の結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は70,716百万円（前期末と比べ5,614百万円減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月13日に公表いたしました2026年12月期通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	76,330	70,716
営業債権及びその他の債権	114,385	103,291
棚卸資産	71,622	73,950
その他の金融資産	1,172	1,895
その他の流動資産	8,584	10,104
小計	272,092	259,955
売却目的で保有する資産	2,634	543
流動資産合計	274,726	260,498
非流動資産		
有形固定資産	299,336	297,601
使用権資産	19,761	20,144
無形資産	48,951	48,702
持分法で会計処理されている投資	451	436
その他の金融資産	9,682	9,754
繰延税金資産	41,288	40,370
その他の非流動資産	4,291	4,025
非流動資産合計	423,760	421,032
資産合計	698,486	681,531

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	123,236	122,123
社債及び借入金	63,978	63,486
リース負債	6,364	6,536
その他の金融負債	478	158
未払法人所得税	1,527	141
その他の流動負債	24,531	20,969
流動負債合計	220,115	213,413
非流動負債		
社債及び借入金	49,924	49,929
リース負債	13,595	13,671
退職給付に係る負債	19,670	20,219
引当金	1,541	1,496
繰延税金負債	10,904	11,389
その他の非流動負債	2,538	2,500
非流動負債合計	98,172	99,205
負債合計	318,287	312,618
資本		
資本金	15,232	15,232
資本剰余金	347,743	348,395
利益剰余金	30,156	23,940
自己株式	△14,810	△20,920
その他の包括利益累計額	1,571	1,974
親会社の所有者に帰属する持分合計	379,892	368,621
非支配持分	307	292
資本合計	380,199	368,913
負債及び資本合計	698,486	681,531

(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上収益	189,760	196,521
売上原価	106,665	109,120
売上総利益	83,095	87,400
販売費及び一般管理費	89,368	90,125
その他の収益	615	5,111
その他の費用	4,457	2,618
持分法による投資損益(△は損失)	47	△9
営業損失(△)	△10,069	△240
金融収益	110	86
金融費用	161	227
税引前四半期損失(△)	△10,121	△382
法人所得税費用	△3,672	519
四半期損失(△)	△6,448	△901
四半期損失(△)の帰属：		
親会社の所有者に帰属する四半期損失(△)	△6,454	△922
非支配持分	6	21
基本的1株当たり四半期損失(△)(円)	△36.67	△5.60

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期損失(△)	△6,448	△901
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	28	△122
小計	28	△122
純損益に振り替えられる可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	—	1
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△302	609
小計	△302	610
その他の包括利益合計	△275	488
四半期包括利益	△6,723	△413
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	△6,729	△435
非支配持分	6	21

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額			
2025年1月1日残高	15,232	378,459	87,317	△16,297	1,492	466,203	240	466,443
四半期包括利益								
四半期利益(△は損失)	—	—	△6,454	—	—	△6,454	6	△6,448
その他の包括利益	—	—	—	—	△275	△275	—	△275
四半期包括利益合計	—	—	△6,454	—	△275	△6,729	6	△6,723
所有者との取引額等								
剰余金の配当	—	—	△4,975	—	—	△4,975	△29	△5,004
自己株式の取得	—	△1	—	△7,991	—	△7,992	—	△7,992
自己株式の処分	—	△4	—	10	—	6	—	6
株式に基づく報酬取引	—	87	—	—	—	87	—	87
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替	—	—	8	—	△8	—	—	—
その他の包括利益累計額から非金融資産への振替	—	—	—	—	△70	△70	—	△70
その他の増減	—	△15	—	—	—	△15	—	△15
所有者との取引額等合計	—	67	△4,967	△7,980	△78	△12,959	△29	△12,987
2025年3月31日残高	15,232	378,526	75,895	△24,277	1,139	446,515	217	446,732

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額			
2026年1月1日残高	15,232	347,743	30,156	△14,810	1,571	379,892	307	380,199
四半期包括利益								
四半期利益(△は損失)	—	—	△922	—	—	△922	21	△901
その他の包括利益	—	—	—	—	488	488	—	488
四半期包括利益合計	—	—	△922	—	488	△435	21	△413
所有者との取引額等								
剰余金の配当	—	—	△5,303	—	—	△5,303	△36	△5,339
自己株式の取得	—	△1	—	△6,986	—	△6,987	—	△6,987
自己株式の処分	—	215	—	876	—	1,091	—	1,091
株式に基づく報酬取引	—	438	—	—	—	438	—	438
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替	—	—	9	—	△9	—	—	—
その他の包括利益累計額から非金融資産への振替	—	—	—	—	△76	△76	—	△76
所有者との取引額等合計	—	652	△5,294	△6,110	△85	△10,837	△36	△10,873
2026年3月31日残高	15,232	348,395	23,940	△20,920	1,974	368,621	292	368,913

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期損失 (△)	△10,121	△382
調整項目：		
減価償却費及び償却費	11,315	8,093
減損損失	49	151
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	16
受取利息及び受取配当金	△12	△24
支払利息	158	177
持分法による投資損益 (△は利益)	△47	9
有形固定資産売却益	△442	△4,808
有形固定資産及び無形資産除売却損	371	134
営業債権及びその他の債権の減少額	9,764	11,159
棚卸資産の増加額 (△)	△2,155	△2,328
その他の資産の増加額 (△)	△1,289	△460
営業債務及びその他の債務の増加額	1,212	2,726
退職給付に係る負債の増加額	592	549
その他の負債の減少額 (△)	△6,415	△4,293
その他	△51	△241
小計	2,916	10,478
利息の受取額	12	23
配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△210	△228
法人所得税の支払額	△2,378	△1,517
法人所得税の還付額	0	0
営業活動によるキャッシュ・フロー合計	340	8,757
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産、無形資産の取得による支出	△8,513	△10,196
有形固定資産、無形資産の売却による収入	1,410	9,200
その他の金融資産の取得による支出	△1	△1
その他の金融資産の売却による収入	46	33
子会社株式の売却による支出	△2,278	—
その他	△139	3
投資活動によるキャッシュ・フロー合計	△9,476	△961

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済額	△500	△500
リース負債の返済による支出	△1,549	△1,698
自己株式の処分による収入	6	1,091
自己株式の取得による支出	△7,992	△6,987
配当金の支払額	△4,975	△5,303
非支配持分への配当金の支払額	△29	△36
その他	—	21
財務活動によるキャッシュ・フロー合計	△15,038	△13,411
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	1
現金及び現金同等物の減少額(△)	△24,173	△5,614
現金及び現金同等物の期首残高	88,473	76,330
現金及び現金同等物の四半期末残高	64,300	70,716

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当社グループは、従来、機械装置について、主な耐用年数を7年～20年として減価償却を行ってまいりましたが、2026年は中期経営計画「Vision 2030」の初年度として資本効率向上のために厳選した設備投資を行なっていく方針であることや、既存資産の使用実態をふまえた検討を行った結果、製造の用に供する機械装置については、従来よりも長期的かつ有効に活用する方針を決定しました。その結果、当第1四半期連結累計期間より、製造の用に供する機械装置については、主な耐用年数を15年～20年へ見直し、将来にわたって変更しております。

この変更にともない、従来の耐用年数によった場合と比較して、当第1四半期連結累計期間の営業損失、税引前損失がそれぞれ465百万円減少しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会(最高経営意思決定者)が経営資源の配分の決定をするために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは主要な製品・サービスまたは事業内容別に組織運営体制を確立しており、以下のとおり「ベンディング事業」、「OTC(手売り)事業」および「フードサービス事業」の3つのビジネスユニットを事業セグメントおよび報告セグメントとしております。報告セグメントを形成していない事業セグメントおよび集約した事業セグメントはありません。

報告セグメント	事業内容
ベンディング事業	日本のベンディングチャンネルにおける飲料等の仕入、製造・販売、ボトリング、パッケージング、流通およびマーケティングならびにその他の自動販売機関連事業
OTC事業	日本のスーパーマーケット・ドラッグストア・量販店・コンビニエンスストア・オンライン等のOTC(手売り)チャンネルにおける飲料等の仕入、製造・販売、ボトリング、パッケージング、流通およびマーケティング事業
フードサービス事業	日本のレストラン・フードサービスチャンネルにおける飲料等の仕入、製造・販売、ボトリング、パッケージング、流通およびマーケティング事業

(2) 報告セグメントの情報

当社グループの報告セグメントごとの情報は以下のとおりです。

なお、当社は前中間連結会計期間より、報告セグメントを「バンディング事業」、「OTC事業」および「フードサービス事業」に変更したため、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを記載しております。

前第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	バンディング	OTC	フード サービス		
外部顧客への売上収益	89,368	84,737	9,375	6,280	189,760
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—
売上収益合計	89,368	84,737	9,375	6,280	189,760
セグメント利益 (△は損失) (注) 2	△2,955	6,588	1,064	△11,195	△6,498

(注) 1. 「その他」の区分は、以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上収益の「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業活動から生じた売上収益となります。報告セグメントに帰属しない事業活動には、国内の他のコカ・コーラボトラー社への販売取引等が含まれております。

(2) セグメント利益(△は損失)の「その他」の区分には、報告セグメントに帰属しない事業活動から生じた利益453百万円および本社等共通費△11,648百万円が含まれております。本社等共通費は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費であります。

2. セグメント利益は事業利益を使用しており、事業利益は売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除し、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減して算出しております。

当第1四半期連結累計期間（自 2026年1月1日 至 2026年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	バンディング	OTC	フード サービス		
外部顧客への売上収益	88,674	90,224	10,756	6,866	196,521
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—
売上収益合計	88,674	90,224	10,756	6,866	196,521
セグメント利益 (△は損失) (注) 2	1,611	8,274	942	△13,504	△2,678

(注) 1. 「その他」の区分は、以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上収益の「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業活動から生じた売上収益となります。報告セグメントに帰属しない事業活動には、国内の他のコカ・コーラボトラー社への販売取引等が含まれております。

(2) セグメント利益(△は損失)の「その他」の区分には、報告セグメントに帰属しない事業活動から生じた利益422百万円および本社等共通費△13,926百万円が含まれております。本社等共通費は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費であります。

2. セグメント利益は事業利益を使用しており、事業利益は売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除し、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減して算出しております。

前第1四半期連結累計期間および当第1四半期連結累計期間における、セグメント利益の合計額と税引前四半期利益との調整表は以下のとおりです。

(単位：百万円)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
セグメント損失(△)の合計額	△6,498	△2,678
有形固定資産売却益	442	4,808
有形固定資産及び無形資産除売却損	—	△71
子会社株式売却益	23	—
事業構造改善費用	△919	△589
減損損失	△49	△151
特別退職加算金	△2,822	△20
取締役報酬制度改定に伴う一時金	—	△1,543
その他	△246	2
営業損失(△)	△10,069	△240
金融収益	110	86
金融費用	△161	△227
税引前四半期損失(△)	△10,121	△382

(重要な後発事象)

該当事項はありません。